行政視察報告

活かそう我が町に

7月4～6日　石川県中能登町・津幡町に行きました。

行政視察研修

○中能登町
・人口　18，392人
・世帯数　6，597世帯
・面積　89．45㎢
・議員定数　14人

○津幡町
・人口　37，739人
・世帯数　13，757世帯
・面積　110．59㎢
・議員定数　16人

平成29年度の行政視察研修は7月4日（火）～6日（木）まで石川県中能登町・津幡町の2町にて研修を実施致しました。

今回の研修地は石川県の能登半島の付根あたりに位置し面積は当町の2～3倍を擁する町でありました。

中能登町では初めに道の駅『織姫の里なかのと』で情報発信と防災機能を設備した町自慢の施設を研修、後に庁舎を訪問、この歓迎にはびっくり、ほぼ全職員が起立して我々を迎えてくました。

何回かの合併により平成17年に現在の中能登町となり人口約18，400人で金沢から約1時間の場所に位置しています。

平成17年に地域イントラネット基盤整備事業などの国の交付金事業を上手く活用して複数の計画を策定し、ケーブルテレビでの放送網の整備や、その後の町ホームページから議会本会議の画像配信するシステムを導入するなど、情報発信に努めていました。

議会基本条例については、議会と執行部が「より健全な緊張関係を築く事」を目的として都合7箇所の研修を重ね平成26年3月議会にて可決・施行されています。

中でも、議員ハンドブック（町の概要情報→人口、財政、各種福祉関係助成制度など及び、議会関連条例規則を掲載）を作成して配布しており、議員にも執行も大変便利なものだと関心しました。

意見交換のあと議場を見学（中能登町）

津幡町では、地域包括ケアシステムの取組みについて研修し、地域包括支援センターを中心に住民主体で生活支援連絡協議会などを組織し、地域で何ができるのか考え、支え手を増やし、住み慣れた地域で暮らし続けられるしくみを作り、どこに誰が何人で生活しているかが分かるマップ作りを実施し専門職と地域がマッチできるシステムづくりをしていました。

議会は通年議会制度を取り入れ専決処分の件数が少なくなり1年間の予定がおおむね事前に立てられることとなりメリットが多いようでした。

議会基本条例については平成23年7月に制定され前述している通年議会について重きをおいて実施していました。

また、議会のインターネット中継は平成17年からケーブルテレビにて定例会初日を再放送することから始まり平成27年11月議会からは放送設備をデジタル方式に変更して現在放映しています。

各町が取組んできた議会基本条例はやはり幾つかの町村をしっかり勉強して、制定されており、わが町議会においてもしっかり議論・検討をし、議員の資質向上を目指すものにしていかなければならないと強く感じました。

今年度の

議会運営委員会所管事務調査報告

～議会の活性化に目を向けて～

議会運営委員会研修

平成29年度議会運営委員会（古川文雄委員長）の研修は6月27日（火）・28日（水）、群馬県の大泉町（おおいずみまち）と埼玉県の伊奈町（いなまち）において実施しました。

今回の視察研修の主なテーマについては議会基本条例の制定についてや、本会議のインターネット中継・録画配信について視察調査しました。議会基本条例については両町とも、制定までに約3年弱の年月を要しており、その間、町民アンケートの実施やパブリックコメントの実施を行うなどして制定に至っていました。

議会中継（インターネット中継や録画配信）については、議会活性化や開かれた議会におのずと反映していると認識しました。その他、議会派の導入や政務活動費についても調査研修を行いました。

大泉町議会の議場を見学

伊奈町議会と意見交換

町議会・議員の活動

優良町村議会として県表彰を受賞

6月2日開催の福島県町村議会議長会平成29年度定期総会において、地方自治の本旨に基づいて議会運営の改善に努め、郷土の発展と住民福祉を増進した功績が認められ、優良町村議会として表彰を受けました。今後も引き続き開かれた議会運営に努めて参ります。

議場にて今回の受彰を喜び合う